

成年男子団体 決勝進めず



【アーチェリー成年男子予選ラウンド】70㍎先の標的を狙う田口惣一郎（崇城大）＝和歌山・南山スポーツ公園陸上競技場（横井誠）

アーチェリー

（和歌山県南山スポーツ公園陸上競技場）

【成年男子】▽団体予選

①熊本1839点（田口641、坂本609、巢山589）

▽落選

▽個人 ①古川高晴（和歌山・近大職）662点②田口惣一郎（崇城大）641点③坂本隆輝（熊本県スポーツ振興事業団）609点④巢山佑輝（熊本県スポーツ振興事業団）589点（総合得点対象外）

【成年女子】▽個人 ①川中香緒里（鳥取・ミキハウス）663点（総合得点対象外）

【少年男子】▽個人 ①河田悠希（広島・佐伯高）667点②大会新（総合得点対象外）

【少年女子】▽個人 ①奥村佳子（愛媛・松山東雲高）607点（総合得点対象外）

「もっと上狙えた」

○：アーチェリーの成年男子団体は17位になり、決勝進出ライン（16位）にあと一步届かなかった。

った。チーム内トップの成績だった田口惣一郎（崇城大）は「もっと上を狙えた」と唇をかんだ。毛利侑太郎監督は「国体の大舞台と、強風で本来の力が出せなかった」と無念の表情。風の影響で矢が流される場面もあったが、田口は「条件はみんな同じ。来年も出場できたらチームに貢献したい」とリベンジに意欲を見せた。